

県内企業の脱炭素への取り組み事例

群馬経済研究所 主任研究員 櫻澤広祥

調査のポイント

脱炭素に関心はあるが、知識・ノウハウ不足を理由に「取り組むハードルが高い」とする声が多く、多くの企業から挙がっている。本稿では、そうした企業でも取り組みやすい制度である「エコアクション 21」を活用した事例を取り上げる。

要約

- 「エコアクション 21」は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムである。県内では 2023 年 2 月末時点で 240 社が認証取得しており、うち本稿では、製造業、宿泊・サービス業、小売業の 3 つの事例を紹介する。
- 事例から見えた特徴は、①日々のデータ・記録を残している、②節電等の基本的なことを実践している、③企業イメージ・ブランディングの向上に努めている、というものであった。
- 「エコアクション 21」は、脱炭素が世界的な潮流となる中で、中長期的な目線で自社の生き残りを考えた場合、取り得るひとつの有効な制度・ツールではないだろうか。

ヒアリング調査概要

＜県内企業 3 社にヒアリングを実施＞

- ・株式会社原田（高崎市、製造業）
- ・株式会社ホテル松本楼（渋川市、宿泊・サービス業）
- ・群馬三菱自動車販売株式会社（高崎市、小売業）

＜実施期間＞

- ・2023 年 1 月 24 日～2023 年 1 月 25 日